

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: ACTech畜産用

製品番号(SDSNO): ACT_JP-0

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 消石灰と混合して、菌・ウイルス・悪臭対策用剤として使用する

使用上の制限: 推奨用途以外に使用しないこと

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 有限会社クリーンケア

住所: 大阪府大阪市西区川口3-1-14

電話番号: 06-6584-0240

FAX: 06-6584-0249

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）: 区分4

急性毒性（経皮）: 区分2

急性毒性（吸入）: 区分3

皮膚腐食性/刺激性: 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2

生殖細胞変異原性: 区分2

発がん性: 分類できない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）: 区分3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）: 区分2（腎臓）

吸引性呼吸器有害性: 区分できない

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分外

(注)記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素
注意喚起語：危険



危険有害性情報
飲み込むと有害
皮膚に接触すると有毒
吸入すると有毒
皮膚刺激
強い眼刺激
長期にわたる、または、反復暴露により腎臓の障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
静電的に敏感な物質を積みなおす場合、容器を接地すること、アースをとること。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
環境への放出を避けること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣を着用すること。
保護手袋を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合には適切な消火方法をとること。
漏出物を回収すること。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。口をすすぐこと。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

二酸化ケイ素,

亜塩素酸ナトリウム(令和8年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

二酸化ケイ素,

亜塩素酸ナトリウム(令和8年4月1日施行)

4.応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

皮膚炎を引き起こすことがある（ラルリル硫酸ナトリウム）

医師に対する特別な注意事項

データなし

5.火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

周辺設備に適した消火剤を使用する。

この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤：データなし

特有の危険有害性

熱、火花および火炎で発火するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じんを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

粉じんの発生と堆積を防止する。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋/保護衣を着用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

酸、酸化性物質、還元性物質との接触を避けること。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

乾燥した場所に保管すること。

安全な容器包装材料データなし

8.ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

(二酸化ケイ素)

日本産衛学会(2006)(二酸化ケイ素)2mg/m³(吸入性粉塵)

(二酸化ケイ素)

ACGIH(2006)TLV-TWA : - TLV-STEL : -

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所を取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9.物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：固体(粉末)

色：白色

臭い：無臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性（ガス、液体及び固体）：燃焼しない

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：適用外

引火点：燃焼しない

自然発火点：適用外

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率：適用外

溶解度：

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10.安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

酸、酸化性物質、還元性物質

11.有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（経口）

[製品]

区分4,飲み込むと有害

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(亜塩素酸ナトリウム)

ratLD50=165mg/kg(RTECS,2003)

(二酸化ケイ素)

ratLD50>3300mg/kg,>2000mg/kgetal.(ECETOCJACC,2006;SIDS,2006)

急性毒性（経皮）

[製品]

区分2,皮膚に接触すると生命に危険

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(亜塩素酸ナトリウム)

rabbitLD50=107.2mg/kg(IUCLID,2000)

(二酸化ケイ素)

rabbitLD50>2000mg/kg,>5000mg/kg(ECETOCJACC,2006;SIDS,2006)

急性毒性（吸入）

[製品]

区分3,吸入すると有毒

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(亜塩素酸ナトリウム)

mist : ratLC50=0.23mg/L(RTECS,2003)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分2,皮膚刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(亜塩素酸ナトリウム)

ヒト比較的強めの刺激性(HSDB,2002etal)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分1,重篤な眼の損傷

[成分データ]

(亜塩素酸ナトリウム)

ヒト/ラビット刺激性(ICSC(J),2000)

(二酸化ケイ素)

ラビット回復性の眼刺激性(SIDS,2006;ECETOCJACC,2006)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

区分2,遺伝性疾患のおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(亜塩素酸ナトリウム)

cat.2;mouse(IRIS,2000)

発がん性

[製品]

分類できない

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(二酸化ケイ素)

分類できない;(NITE 平成27年度 (2015年度))

[IARC]

(亜塩素酸ナトリウム)

Group3：ヒトに対する発がん性については分類できない

(二酸化ケイ素)

Group3：ヒトに対する発がん性については分類できない (二酸化ケイ素,非晶質)

[ACGIH]

(二酸化ケイ素)

A2(2010)：ヒト発がん性の疑いがある(結晶質二酸化ケイ素)

生殖毒性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

[製品]

区分3,呼吸器系

[成分データ]

[区分3]

[日本公表根拠データ]

(亜塩素酸ナトリウム)

呼吸器系、腎臓(RTECS,2003)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(二酸化ケイ素)

気道刺激性(SIDS,2006;ECETOCJACC,2006)

[製品]

区分2,長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(亜塩素酸ナトリウム)

血液、心臓(ATSDR,2004;RTECS,2003)

誤えん有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

12.環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分1,短期急性 水生生物に非常に強い毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(亜塩素酸ナトリウム)

甲殻類(オオミジンコ)EC50=0.0146ppm/48hr(Aquire,2003)

水生環境有害性 長期(慢性)

水溶解度

(亜塩素酸ナトリウム)

39g/100mL(17°C)(ICSC,2000)

生体蓄積性

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13.廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

廃棄処理に際し粉じんの発生を防止すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14.輸送上の注意

国連番号、国連分類

IMDGCode(国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号：3077

正式輸送名：その他の毒性固体、無機物、N.O.S.(亜塩素酸ナトリウム)

分類または区分：9

容器等級：III

特別規定番号：274

IATA(航空危険物規則書)

国連番号またはID番号：3077

正式輸送名：その他の毒性固体、無機物、N.O.S.(亜塩素酸ナトリウム)

分類または区分：6.1

危険性ラベル：Toxic

容器等級：III

特別規定番号：A97, A158, A179

環境有害性

海洋汚染物質(該当/非該当)：該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送におけるMARPOL条約付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。

二酸化ケイ素

特定標的臓器毒性,反復ばく露：

水生環境有害性：短期(急性)区分1 該当物質

亜塩素酸ナトリウム

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法：有害性物質

航空法：その他の有害性物質

15.適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

粉じん障害防止規則（令19号）

該当

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

亜塩素酸ナトリウム(令和8年4月1日施行);二酸化ケイ素(令和8年4月1日施行)

名称通知危険/有害物

亜塩素酸ナトリウム(令和8年4月1日施行)
化学物質管理促進(PRTR)法
消防法に該当しない。

16.その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 4-1-22)

IATA航空危険物規則書第65版(2024年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDE BOOK (USDOT)

2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2023許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

厚生労働省基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

PubChem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によっ

て改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取

扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE令和4年度(2022

年度))です。